

年に2回の防災訓練

地震発生時と二次災害での火災を想定



具体的な災害対策マニュアルへ進化

総合病院では、消防法に基づき自衛消防団（災害時の初期活動や対応を円滑に行い、利用者の安全を確保するために設置されている組織）を設置し、年2回消防訓練を行っています。

これまでの訓練の中で、地震発生時の訓練が課題になっていることがわかり、昨年から地震発生時の訓練と二次災害として火災が発生した想定で消防訓練を行っています。

8月8日、6階（産婦人科）病棟において、災



害発生時の初動訓練を行いました。

今回訓練を行った6階病棟は、安全確認の分担やマニュアルに沿った安全な場所への移動、リーダーの指示も的確に行うことができ、入院患者さんの安否確認は想定より短時間で済みました。ただ実際には想定外のことがおきるだろうと思われ、「移動はもっと時間と人が必要だ」という感想もあり、次のステップにつながる訓練となりました。

左の写真は、ママが退



「レスキューママ」を装着



院してベビーだけが入院している場合に、スタッフが「レスキューママ」を装着して避難する姿です。

訓練の前に、消防設備の説明を動画含んだスライドを使って行いました。

また水消火器を使った消火訓練も行っていました。

毎回「知らなかった」「勉強になった」「消火器を初めて扱った」という感想があり、「これだけ知っておいてほしい」という情報を提供していく活動をすすめます。

訓練により、職場で作ったマニュアルどおり動けるのか、実際行ってみてどこが良かったか、何が足りないか、もっとこうすれば...という点に気づくことができます。今後も全部署で訓練を行い、より具体的にわかりやすい災害対策マニュアルの作成を目指します。

（耳原総合病院
自衛消防団隊長
屋馬 禎幸）

国土強靱化貢献団体認証

『レジリエンス認証』を更新



支援募金に取り組み、堺市医師会の要請により、行っています。

レジリエンス認証とは

日本各地では、地震、台風や水害などの自然災害が多発しています。またサイバーテロやウイルス感染症など、脅威の対象は拡大傾向にあります。想定外の事態により社会システムや事業の一部機能が停止しても、事業全体としての機能を速やかに回復できる取り組みを評価し認証するものが、レジリエンス認証制度です。

（レジリエンスジャパン推進協議会ホームページより）

MAT（日本医師会災害医療チーム）に医師を派遣し、医療支援を行ったことなども評価されました。

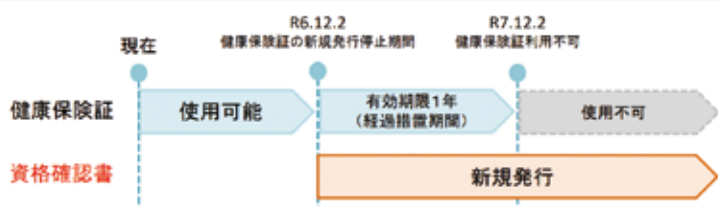
今後も大規模災害に備

マイナ保険証への移行後の経過措置

従来の健康保険証は2024年12月2日に廃止されますが、現在お持ちの健康保険証は、退職等で資格喪失にならない限り、2025年12月1日まで使用できます。

2025年12月2日以降、マイナンバーカードを持っていない、またはマイナ利用登録をしていない方は、保険者から交付される**資格確認書を提示すれば保険診療を受けることができます。**

（参考）資格確認書の発行スケジュール



今回の審査では、新型コロナウイルス感染症以外のパンデミック以降、新型コロナウイルス感染症患者を受け入れる病院として地域での役割を發揮したことと併せて、新型コロナウイルス感染症以外の患者の受入れも積極的に行い、新型コロナウイルス感染症患者対応に偏重することなく地域医療を守ってきたことが評価されました。

また、災害対策では、事業継続計画画書（BCP）の見直しを行い、消防・災害訓練を実施しています。

能登半島地震では復興